

相次ぐ報復・不当配転

本人意向は無視のまま

NTT西日本は4月3日付けの当組合に対する回答書の中で「社員の配置換えにあたっては、就業規則等に基づき、業務上の必要性に応じて、本人の適正、家庭事情等も勘案しつつ、会社の責任において実施していくものと考えております。」と名言しながら、本人の意向など全く無視した、満了型を選択したことに対する報復のための強制不当配転を行い続けている。わが組合島本委員長に続き、吉川会計監査を徳島から松山のネオメイト四国へ、同山下執行委員を兵庫支店へと全く業務上必要のない人事を行い、本人にとってもわが組合にとっても極めて悪質な配転攻撃である。

吉川社員の思い.. 1日でも早く地元へ

私は5月1日に徳島より、この度の構造改革の犠牲として松山のネオメイト四国に着任しました。今まで集約は度々行われてきましたが、今度の構造改革は設備部に働くものにとって最悪の出来事です。

50歳以上の人は全て退職再雇用で地元に残り、50歳以下のものは退職再雇用を選ばないものは、殆どがこれまでの仕事に関係なく松山に配転させられてきました。これまでと同じ様な仕事をする人もいますが、全然違うことをさせられる人は大きな不安を抱えての配転となりますし、地元に残った人も、これまでと違うことをする人もきちんとした引継ぎのないまま不安を抱えています。

家族の生活する場所が自分のいる場所

50歳以下だからどこにでも行かなければならないのでしょうか。私は家族の生活する場所が自分のいる場所だと考えていますし、法律上も「家族は同じ場所で生活すること」と決められています。家族が私を必要としているし、親が近くにいるだけで子供も安心します。今年は3人の子供の進路を決める年でもあります。その相談もやはり近くにいる、いつでも出来るということは大切ではないでしょうか。

多くの人が、徳島や香川、高知から出されました。後1~2

年すればその多くが退職再雇用に応じるかどうかの判断を迫られます。その時にNTTの仕事が回っていくのかどうか大きな疑問がありますし、本体でいても地元に残れる施策を追求していくことが大事だと思います。

松山にきましたが、1日でも早く地元に戻るよう皆で運動していきましょう。

山下 社員に対する不当配転についての抗議

山下社員については、これまでの経過を踏まえたうえで本社への抗議をする。

これまでの経過

1. 3月19日、SOコントロールセンタ担当課長池田耕三、宇都宮司の2名同席の上、岩田人事育成担当課長より山下悟に対して「満了型を選びましたね」という確認の後、次のように提示された。満了型を選んだ社員について次の選択肢がある。

新会社での企画戦略 顧客サービス管理 法人営業などの業務 もしくはOS以外のグループ会社への出向 全国の事業所やグループ会社などの異動等をとという選択肢を示しながら3月25日に支店との兼務発令を行い、4月1日から約1ヶ月大阪での研修に行っていたと告げられた。

2. 大阪から帰ると26日付けで兼務が解かれ、5月1日付けで愛媛支店ソリューション営業部へ移動。7日の発令で兵庫支店と言われているが以下の問題点がある。

問題点

3月19日の時点で選択肢が幾つもあるのに、その中で何故法人営業などの業務を選択したか明らかにしていない。

後日(3月末)本人が岩田担当課長に聞くと「会社として必要だからです。」との返事だったが、これは全く返事ではない。

さらに冒頭の組合への平成14年4月3日における回答書で言っている本人の適正、家庭事情等をも勘案についても、本人の家庭事情等は全く本人には聞きもしないで把握など出来る筈もなければその気等ないということの証左でしかないことは火を見るより明らかである。